

豊田市長 太田 稔彦 様

# 提 言 書

やあ！  
ふじおか



令和5年9月11日

藤岡地域会議

部会	氏名	フリガナ	所属母体等	備考
避難行動の実効性向上部会 (9名)	安部 深志	アハ` フカシ	御作町自治区	
	大川 紀美子	オホカワ キミコ	藤岡地区高齢者クラブ連合会	
	上別府有里子	カミベツフ` ヲリコ	北曾木・折平町・ファーツィ-自治区 (連区)	
	武田 喜治	タケダ ヨシル	北一色自治区	
	中根 利幸	ナカネ トシキ	藤岡商工会・観光協会	
	福岡 基	フクオカ モトシ	上川口・下川口自治区 (連区)	
	堀部 英二	ホリベ` エイジ	藤岡地区コミュニティ会議	
	楨 義治	タケ ヨシル	白川町・西市野々自治区 (連区)	
	山本 盛彦	ヤマモト` モリヒコ	石飛自治区	会長
地域の課題抽出、 提言部会 (8名)	梅村 和弘	ウメムラ` カズヒロ	藤岡飯野・藤源自治区 (連区)	
	浦 英二	ウラ` エイジ	迫町自治区	
	岡崎 国雄	オカザキ` クニオ	石豊自治区	
	加藤 孝之	カトウ` タカユキ	木瀬自治区	副会長
	高見 和夫	タカミ` カズオ	三箇町・大岩町自治区 (連区)	
	細野 恵哉	ホシノ` ケイヤ	藤岡中学校PTA	
	山内 洋子	ヤマウチ` ヨウコ	藤岡地区民生委員児童委員協議会	
	吉田 健一	ヨシダ` ケンイチ	上渡合自治区	

藤岡地区の人口は、合併後18年間で、約13%減少し、その中でも0歳時～14歳の年少人口は約60%の減少、75歳以上の後期高齢者人口にあっては約64%増加しており、少子高齢化が顕著な地域と言えます。

また、地区内の大半が中山間地域に位置しており、土砂災害警戒区域に指定されている箇所も多く、地域によっては避難所まで遠く、安全に避難ができるのかとても不安な面があります。さらに、市街地に比べて消防署から距離がある地域については、救急車の到着にも相当の時間を要します。

以上のような地域特性から、「安心・安全なまちづくり」こそが、藤岡地区がめざす目標であり、住民が互いに支え合い、「住みたいまち・住み続けたいまち」と実感できる住民が増えるよう、次の2点の提言をいたします。

**提言1 誰一人取り残さない避難行動要支援者に対する避難支援**

**提言2 安心・安全なまちづくりに向けた救命救急体制  
～サステイナブル ライフ サポート プログラム (SLSP) ～**

## 提言 1 誰一人取り残さない避難行動要支援者に対する避難支援

【避難行動の実効性向上部会】

### 1 背景

昭和47年の集中豪雨から50年、それ以降大きな災害が発生していないため、住民の多くが災害について他人事と捉えられており、「自助、共助」が身につけていないのが現実です。

令和4年度には、福祉総合相談課から避難行動要支援者への避難支援の実効性を高める取組に関する諮問があったことで、議論を深めることができました。

そこで、個別支援台帳作成の推進と避難支援の意識向上について、まずはモデル自治区から取り組み、改善を積み重ねながら藤岡地区全体に拡大させていくことを提言します。

### 2 地域の取組内容

#### (1) 地域住民間の関係性構築

- ・隣近所との付き合いをよくするために、自治区で親睦会を開催
- ・自治区役員と民生委員の緊密な協力体制づくり

#### (2) 避難行動要支援者マップの作成

- ・避難支援等関係者（自治区役員、民生委員、自主防災会など）による避難行動要支援者宅への訪問（同時に個別支援台帳の作成）
- ・避難行動要支援者をマッピングによる見える化

#### (3) 避難行動要支援者マップの活用

- ・自治区の組単位での、避難行動要支援者に関する情報の共有
- ・支援担当住民（複数）の事前決定
- ・災害を想定した避難行動訓練（安否確認や声かけにつながる黄色いタオルを利用した訓練）の定期実施

#### (4) 避難支援に対する意識の向上

- ・ハザードマップを活用した危険箇所把握のための学習会の実施
- ・災害体験者や防災に関する講演会の実施
- ・他地域での取組を知る機会

### 3 市へ求める取組内容

- ・藤岡地区での取組への積極的支援（取組に必要な資材の提供）
- ・避難行動要支援者への避難支援の実効性を高める取組の事例（良いもの／うまくいかなかったもの）の提供
- ・避難行動要支援者への理解が深まる講座の紹介

### 4 期待する効果

#### (1) 災害被害者を出さない

災害時に住民一人ひとりが、自らだけでなく避難行動要支援者の安全配慮を行うことにより、命を守る行動が取れるようになります。

#### (2) 隣近所の絆の強化

災害時だけでなく、日常生活における良好なコミュニケーションが生まれ、支え合いのできる地域が形成されます。

#### (3) 地域防災力の強化

この取組を通じて、地域の防災体制も見直され、自主防災会の活動が強化されます。

## 提言2 安心・安全なまちづくりに向けた救命救急体制

### ～サステナブル ライフ サポート プログラム (SLSP) ～

【地域の課題抽出、提言部会】

#### 1 背景

中山間地域での救急要請の際、ただ救急車を待つのではなく、住民の手で命を繋ぐことが必要で、住民が思う安心・安全なまちは、「自分達で助けあう意識があるまち」です。近くに「小さな消防署」があるかのような安心感があることが理想です。

そこで、住民が助け合う意識を持ち、救命処置について正しい知識を学ぶ場づくりを進めていくことを提言します。

#### 2 地域の実施内容

##### (1) 地域の人づくり

- ・地域の有志を中心とした「SLSP」の立上げとメンバーの勧誘
- ・消防団 OB の知識と経験を活かした地域リーダーとしての活躍

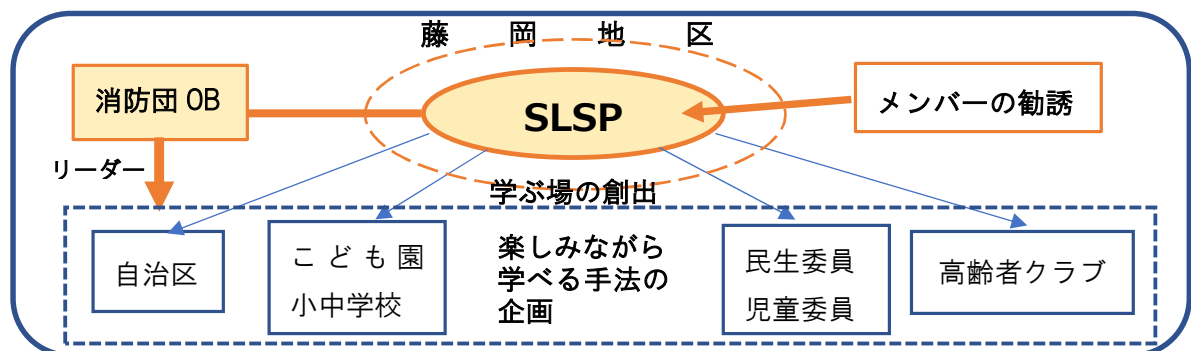
##### (2) 正しい知識を学ぶための場づくり

- ・自治区住民、こども園・小中学校の保護者、民生委員児童委員、高齢者クラブ会員など、各種団体における AED 使用などの救命処置の正しい知識を学ぶ場の創出

##### (3) 地域で継続する仕組みづくり

- ・単発で終わらせない最低 2～3 年に 1 回は講習を受講できる仕組みの構築
- ・取組の継続に向けて、救命コンテストなどで楽しみながら学べる手法の企画

#### 【活動のイメージ】



#### 3 市へ求める実施内容

- ・厚生労働省 HP にある「AED の適正配置に関するガイドライン」に沿った、地域内のランドマークとなる施設として地域集会所への設置、コンビニエンスストアへの設置に向けた働きかけ、おいでんバス・ふじバスへの設置、設置済 AED の継続的なメンテナンス支援
- ・救命処置方法が一目でわかる既成の小冊子等の全戸配布

#### 4 期待する効果

##### (1) 救命率の向上

AED の設置が進み、AED を使いこなせる住民が増えることにより、救命率が高まります。

##### (2) 共助意識の向上による、支え合いの環境形成

互いに助け合う気持ちが育まれることにより、生活支援や防災対策にも相乗効果が生まれます。

##### (3) 「住みたいまち、住み続けたいまち」藤岡

互いに助け合うことができる、安心・安全なまちとして広く認知されることにより、人口減少対策となります。

※藤岡地区の概要（提言参考資料）

人口・世帯数

	令和5年 (4/1 現在)	平成17年 (4/1 現在)	増減率
人口（人）	8,463	9,735	△ 13.1%
総世帯数（世帯）	3,381	2,738	23.5%
0から14歳（人）	828	2,057	△ 60.0%
高齢者数（65歳以上）（人）	2,181	1,340	62.8%
75歳以上（人）	1,015	620	63.7%
高齢化率（%）	25.8	13.8	87.0%

藤岡地区 18自治区

藤岡地区 避難行動要支援者数（令和5年7月31日現在）

- ・避難行動要支援者 187人
- ・名簿への登録同意者 151人（同意率：80.7%）
- ・個別支援台帳受付数 40件（作成率：26.5%）

藤岡地区 地域集会所（区民会館等）AED設置状況（令和5年7月現在） 4 / 18自治区

※参考：自治区活動備品整備事業補助金 5割以内

まちかど救急ステーション 登録事業所（令和5年7月現在） 14事業所

※AED常時設置、営業時間中のAEDの提供、従業員に救命講習受講者がいることが要件

財団全国AEDマップ 登録数（令和4年9月現在） 23事業所

※日本救急医療財団のHPに設置登録情報を公開することに同意を得たもの

AED購入に係る費用

- ・本体価格（非医療従事者向けモデル） 20～35万円 ※耐用年数6～8年
- ・消耗品 電極パッド 約1万円 ※耐用年数2年
- ・消耗品 バッテリー 3～4万円 ※耐用年数4年

※参考：リース契約 約4,000円/月（メンテナンス付き）

## 藤岡地区 救急出動平均所要時間（令和4年度）

地区名	集計
岡崎地区	23.4
小原地区	15.7
旭地区	15.4
刈谷地区	13.0
足助地区	12.9
稲武地区	12.1
下山地区	12.0
藤岡地区	12.7
松平地区	9.6
猿投地区	9.0
高岡地区	8.8
高橋地区	8.4
挙母地区	7.9
上郷地区	7.8
みよし地区	0.0
総計	8.8

(分)

町名	集計
豊田市白川町	18.1
豊田市西市野々町	16.4
豊田市上川口町	15.5
豊田市下川口町	14.7
豊田市石畳町	14.0
豊田市北曾木	13.8
豊田市上渡合町	13.6
豊田市三箇町	13.0
豊田市北一色町	12.9
豊田市西中山町	12.8
豊田市大岩町	12.5
豊田市折平町	12.5
豊田市深見町	11.6
豊田市御作町	11.0
豊田市石飛町	10.7
豊田市追町	10.3
豊田市藤岡飯野町	9.8
豊田市木瀬町	5.0
総計	12.7

(分)

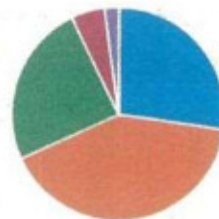
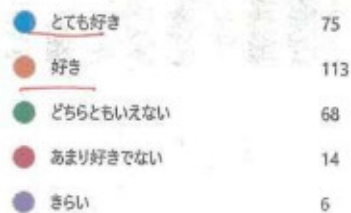
## 藤岡地区こども向け 住み続けたいまちづくりアンケート（令和5年2月実施）

※飯野小学校、石畳小学校、御作小学校 3年生～6年生

藤岡中学校 1年生～3年生

計：276名

あなたは、今住んでいる藤岡地区が好きですか？



その理由は何ですか？

